

中央区立有馬小学校の皆様

拝啓

初春の候、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

私は、東京都済生会向島病院 院長の塚田と申します。

この度は、たくさんの励ましと労わりのメッセージをお送り頂きありがとうございました。皆様のとて心温まるメッセージを読んで、職員一同、感動し、涙を流している人もたくさんいました。病院職員を代表しまして心より御礼を申し上げます。

皆様方も大変な不安とストレス、不自由さの中で日々過ごされているとお察しいたします。この新しいウイルスは、肺炎などの病気を引き起こすウイルスであり、不安や恐れという人の心を傷つけるウイルスであり、不安や恐怖から「嫌悪・差別・偏見」を生み出すという人の弱さを明らかにするウイルスです。

どうぞ皆様、このようなウイルスに負けないでください。「正しく恐れよ」です。誰もが感染する可能性があります。人からうつされる心配をするより、自分の方が感染していると考えて他の人にうつさないように心がけることの方がとても大切であり、心も休まります。バランスの良い食事をとって、睡眠時間もたっぷり、手洗いをきちんと行って、人が集まる時、話す時にはマスクを着けるなど、標準的な予防をすれば大丈夫です。

今、私たち一人一人の覚悟が試されています。私たちの行動は、必ずや後で振り返った時に誇りを持って自分自身に語って聞かせることができる物語になると信じています。

これからも向島病院職員一同、皆様方の健康を守るため、少しでもお役に立てるように頑張っています。

先行きが見通せない中、どうせなら不確実性を楽しみましょう。皆様もどうぞお元気でお過ごしください。ありがとうございました。

敬具

令和3年1月6日

東京都済生会向島病院  
院長 塚田信廣